

■施工される方へのお断り

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

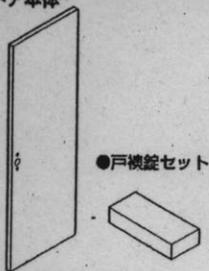
▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■施工上のお断り

●本製品のねじ締付け時には、クラッチ付ドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
●ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っているか確認してください。

■部品・部材の明細

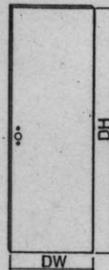
●ドア本体



■戸襖錠セット

レバーハンドル、台座セット	1組
戸襖錠台座セット	1組
台座取付けねじ(φ4×35)	2本
台座取付けねじ(φ4×20)	1本
ハンドル固定ねじ(φ4×16)	1本

※丁番セットは、枠の梱包に入っています。



(単位: mm)

戸襖錠ア	呼称		
	DW	DH	
在来	0718	686	1797
工法向け	0720	686	1997
2x4	0618	678	1747
工法向け	0620	678	1947

※新和風(SL)の戸襖ユニット枠を使用した場合の寸法です。

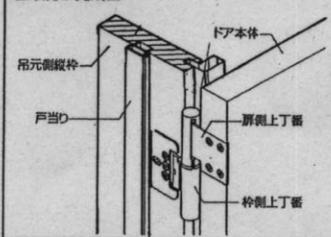
■組立て・取付け順序

1 ドア本体の取付け (SL用丁番の場合は、SL取説を参照願います。)

※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをお勧めします。

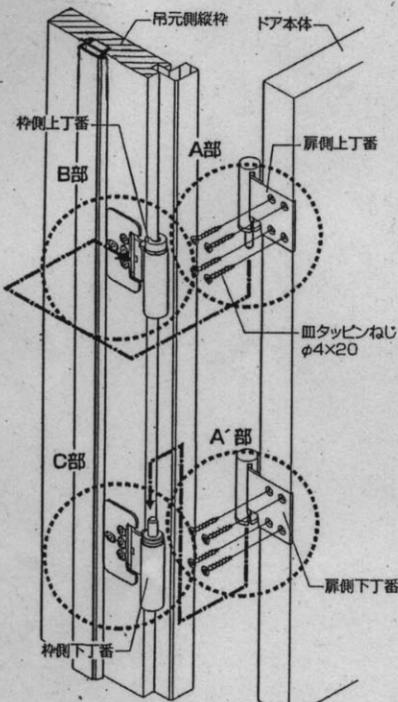
- ①ドア本体に扉側丁番を皿タッピンねじφ4×20で取付けます。(A・A'部)
- ②枠側上丁番のレバーを止まるまで下げます。(B部)
- ※レバーが動かなくなるまでしっかりと下げてください。
- ③扉側下丁番を、枠側下丁番に差込みます。(C部)
- ④ドア本体の上丁番軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。(D図)
- ⑤軸カバーを下へ下げます。(E図)
- ⑥ドアを閉めて枠側上丁番のレバーが上がったことを確認してください。
- ⑦ドア本体の上下・左右のチリ寸法を確認して調整します。

■取付け完成図

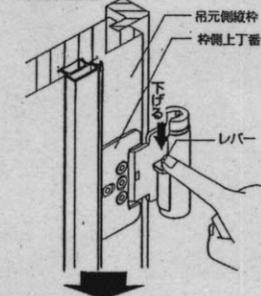


2 把手の取付け

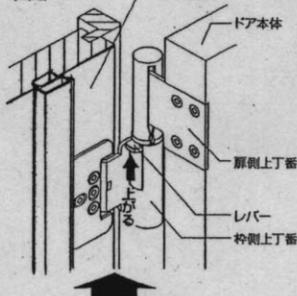
- ①化粧台座と戸襖錠台座を室内・室外から組合わせ、小ねじで仮締めします。(F図)
レバーハンドルと戸襖錠台座を両側からセットし、ハンドルが軽く回転することを確認した後、台座を小ねじとタッピンねじで本締めします。
- ②いったんハンドルを抜き、化粧プレートをはめ込みます。
- ③ハンドルを差込み、ねじで固定します。



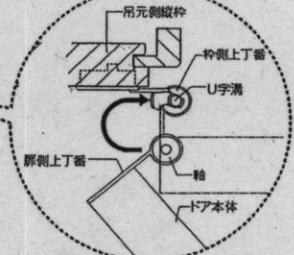
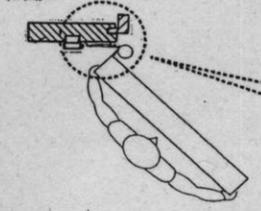
(B部詳細図)



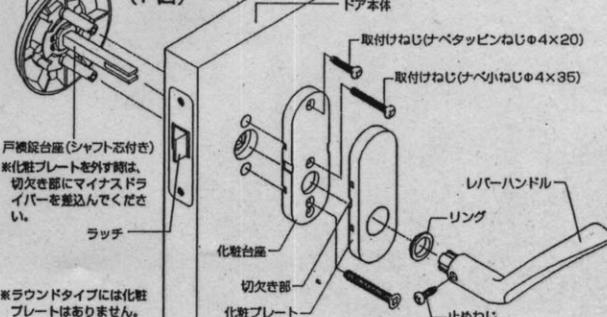
(E図)



(D図)



(F図)



▲注意

- 丁番固定ねじの締め忘れ・ゆるみ等は、本体脱落の原因になります。調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっている事を確認してください。
- 扉を吊込んだ後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。レバーが上端まで上がっていないと、本体が脱落するおそれがあります。

戸襖錠台座(シャフト付)

※化粧プレートを外す時は、切欠き部にマイナスドライバーを差込んでください。

ラッチ

※ラウンドタイプには化粧プレートはありません。

■丁番による調整

※本製品は、ドアを閉め取付け状態を目で確認しながら調整できます。

▲注意

●丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後、ガタツキがないことを確認してください。

(1) 上下だけの調整	不具合現象	調整方法
<p>●下つり丁番で調整します。 ●丁番幅は、上(3mm)、下(3mm)です。</p>	<p>●ドアの上部が枠に当たる。</p>	<p>①扉側下丁番の軸カバーを外す。 ②上下調整ねじを左に回し、ドアを下げて位置を決める。 ③軸カバーをはめる。</p>
	<p>●ドアの下部が枠に当たる。</p>	<p>①扉側下丁番の軸カバーを外す。 ②上下調整ねじを右に回し、ドアを上げて位置を決める。 ③軸カバーをはめる。</p>

(2) 左右だけの調整	不具合現象	調整方法
<p>●上つり丁番及び下つり丁番の両方で調整します。 ●丁番幅は、吊元側(1.5mm)、開き側(2.5mm)です。</p>	<p>●ハンドル側の本体が枠に当たる。</p>	<p>①固定ねじを緩める。 ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し、位置を決める。 ③固定ねじを締める。</p>
	<p>●ハンドル側のすき間が大きすぎる。</p>	<p>①固定ねじを緩める。 ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し、位置を決める。 ③固定ねじを締める。</p>

(3) 前後の調整	不具合現象	調整方法
<p>●枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。 ●調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。</p>	<p>1.開き側の枠が前に出ている。</p>	<p>①固定ねじを緩める。 ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。 ③固定ねじを締める。</p>
	<p>2.吊元側の枠が前に出ている。</p>	<p>①固定ねじを緩める。 ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。 ③固定ねじを締める。</p>

■建付け調整 (ストライクによる調整)

1 ラッチがストライクの中でガタつく

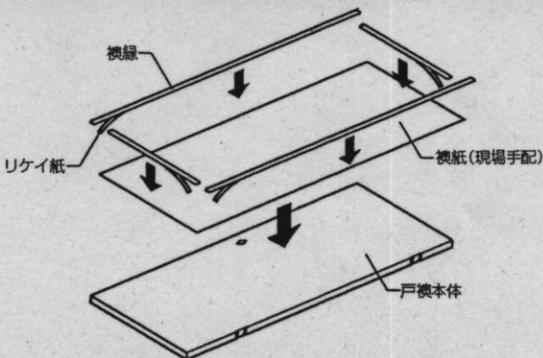
●調整ねじを押しながら、右に回してください。
無段階で移動します。

2 ラッチがからまない

●調整ねじを押しながら、左に回してください。

■戸換の現地張り

- 生地タイプ(K-2)の戸換の場合は、現地地で換紙を張ってください。
- ①本体の生地面側(白色)に換紙を澱粉糊(糊付き紙の場合は水)で張ります。
- ②換紙を、本体の寸法に合わせノコギリで切断します。
- ③換紙のリケイ紙をはがし、換紙の上から圧着してください。
- ※換紙の厚さは2種類あります。厚い方を縦に、薄い方を横に使用してください。
- ※現場手配した換紙を張った場合は、次回の張替え時から上に張増ししてください。



●クロス張りにしないでください。ソリが生じます。